

2021年度 北京大学国際関係学院学術交流 報告書

日時：2022年1月13日（木）15:00～（北京時間14:00～）

1. スケジュール：

15:00-15:10 開会の挨拶

15:10-16:10 成蹊大学法学部 井上正也教授

（通訳：成蹊大学法学部 宮島和也 専任講師）

題目：「日本の国際政治学における日本外交史」

（中国語題目“日本外交史研究在日本国际政治学”）

16:10-17:10 北京大学国際関係学院 梁雲祥教授

（通訳：北京大学外国語学院 王京 准教授）

題目：「日中国交正常化前後における中国の対日外交」

（原題“中日邦交正常化前后的中国对日外交”）

17:10-17:20 休憩

17:20-18:30 質疑応答

18:30 まとめ、閉会

2. 概要

2022年1月13日（木）に北京大学国際関係学院との間で学術交流が行われた。今年度も昨年度に引き続き日中の往来が困難であるため、Zoomを用いて研究会を開催することとした。昨年同様、年内の見通しがつかなかったため、2021年度後期になってから計画を立てはじめ、年明けの1月に開催することとなった。

成蹊大学法学部・井上正也教授は「日本の国際政治学における日本外交史」という題目で発表され、日本における外交史研究の歴史や最新の研究動向について紹介しつつ、戦後日本の国際政治学の中で外交史研究がどのように発展してきたかについて報告がなされた。

北京大学国際関係学院・梁雲祥教授は「中日邦交正常化前后的中国对日外交（日中国交正常化前後における中国の対日外交）」という題目で発表され、日中国交正常化前後に中国政府が行った対日外交の特徴・目的やその背景、さらには今日まで残された問題について報告がなされた。

参加者は25名。Zoomを利用した会議形式であったが、大きなトラブルもなく両教授の報告が行われ、その後の質疑の時間にも活発な議論が交わされた。